



2024年度 長野県若槻養護学校グランドデザイン



長野県特別支援学校 重点目標

- 1 すべての幼児児童生徒に対し一人ひとりのニーズに応じた教育を提供
- 2 特別支援学校の専門性の向上
- 3 地域や企業の方との協働の学びの充実
- 4 地元の同世代の友との交流及び共同学習の充実
- 5 幼保小中高等学校における特別支援教育の対応力の向上を支援

【本校の使命】

- ◎ 病弱教育の理解啓発の推進
- ◎ 地域のセンター機能(精神疾患、発達障がい、疾病等の対応)
- ◎ 社会参加参画のための連携

【学校教育目標】

わたしらしく あゆもう

【めざす児童生徒の姿】

進んで学ぶ 自分を語る ともにつくる

【学校長の願い】

- ◎ 心を寄せた児童生徒理解
- ◎ 個の力を伸ばす学習支援
- ◎ 安心・安全な環境づくり
- ◎ 地域への発信と連携

◆ 魅力のある学習指導

- ・ 安心感のある授業(一人ひとりに応じた「わかる・できる」学習)
- ・ 主体性を大切に授業(自ら考え・試す学習)
- ・ ICTを活用した授業(「すらら」含む)

◆ 生きる力を育む自立活動の充実

- ・ TT等による多角的な児童生徒理解
- ・ 個と集団を視点にした自立活動
- ・ 日々の授業に活かす個別の指導計画

◆ 健康指導の充実(自己理解に向け)

- ・ 健康な身体づくりの理解と実践の推進
- ・ 心身を健康に保つ生活リズムづくり
- ・ 自分で行う感染症予防の指導

◆ 人権を尊重した教育の充実

- ・ 互いに認め合う学校風土の醸成(個や集団での自立活動・校内相談)
- ・ ハラスメントのない教育環境(性教育等)
- ・ 外部講師による研修の実施

2024年度 学校運営の重点

「学び合う つながる 発信する」

◆ 進路指導とキャリアサポート

- ・ 生徒に合った実習先の開拓及び職業教育の推進(デュアル現場実習等)
- ・ ライフステージに応じたキャリア教育(自己決定に向けた体験的な学習)

◆ 相談機能の充実

- ・ チームでの教育相談(校外・校内)
- ・ 病弱の専門性を活かした教育相談
- ・ 地域への発信(わかようセミナー等)

◆ 医療や他機関、居住地校等との連携

- ・ 今と将来を支える医療、福祉、労働との連携(日頃の情報交換の重視)
- ・ 市町村教委(転入学の仕組の周知)
- ・ 副次的学籍制度の活用

◆ 安心安全な学校づくり(危機管理含)

- ・ 改築・仮校舎対応・感染症対策
- ・ 緊急時対応の確立(備蓄、医療的ケア、タイムライン、登下校時対応等)

各部の運営の重点

【小学部】

- 自ら生活を楽しむ力を養う
- ・ 学ぶ楽しさを感じる児童
- ・ 自分の体調に合わせて生活する児童
- ・ 自分や友だちのよさを知りともに学ぶ児童

【中学部】

- 自分らしさを築く力を養う
- ・ 進路実現に向けて、意欲的に学習に取り組む生徒
- ・ 自分を見つめ、自分のよさを感じ、自己決定できる生徒
- ・ いろいろな仲間とのかかわりを楽しむ生徒

【高等部】

- 社会自立に向けた力を養う
- ・ 進んで学び働く生徒
- ・ 社会自立を目指して生活する生徒
- ・ 自分も仲間も大切にできる心豊かな生徒

【のぞみ部】

- 人やものとかかわり豊かに生活する
- ・ 見て聞いて触れて感じ、楽しく学習する
- ・ 自分と他者、ものに気づく
- ・ 自分らしく表出する

【専門性サポートチーム】

- 支援につながるチーム作り
- ・ 児童生徒理解に基づく支援の共有とチームでの役割分担
- 学び合い高め合う学校風土の醸成
- ・ 病弱教育の専門性の向上、研修体制の充実(先生方のニーズの把握、外部専門家の活用)
- 地域や外部機関への発信・連携
- ・ 児童生徒理解(病気含)と個に応じた支援(校内研究との連携、カンファレンス等病院との連携)
- ・ 教育相談(体験学習を重視した転入学の仕組の周知)
- ・ 支援会議
- ・ 就労支援
- ・ 復学支援